
あの頃の僕は

亜紅亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの頃の僕は

【Nコード】

N2629Y

【作者名】

亜紅亜

【あらすじ】

心の変化の表れ、希望の持ち方等

あの頃の僕は、周りの目を気にして生きてきた。

あの頃の僕は、自分で行動できずに、判断できずにいた。

あの頃の僕は、人と違うことにビクビク怯えていた。

アノコロノボクハ、ナニヲシテイタンダロウ

言いたいことも言えず、行動できず、もう未来さえ見えなかった。
いつも心の殻に閉じこもり勝手な被害妄想に取り付かれていた。

人も、なんでも、自分さえ信じられなくなった僕は、何故今ここに居る？

ああ。意味あるのか。

どうなのか。

結局たどり着いた答えは

「シニタイ」

僕が居なくてもこの世界はまわっている。

僕が居なくても誰も困らない。

僕が居なくなったら

誰が悲しんでくれる??

そんな時に出会った言葉。

99パーセントの人間が、あなたの死に何も感じなくたって
あとの1パーセントの人間は悲しんでくれている。

そのために生きればいいじゃないか。

生きる目標を探すために生きればいいじゃないか。

君の好きなものは、テレビ番組はなんだい？
漫画はなんだい？

死んだらもう続きは出来ない、わからないよ

そんなに遠い未来まで見なくても、明日のために

明日の夢を、目標を

見ていこうよ

(後書き)

初投稿の小説なので意味不明になってしまいました^^:

結局、誰にでも生きる価値はある。

目標は遠い未来じゃなくても明日へでもいいんじゃないか

という事です^^:

・・・これを書けばよかったですね)(・・・)(

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2629y/>

あの頃の僕は

2011年11月11日23時24分発行